

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートぎのぞそん

公表日 令和7年 2月 28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	十分なスペースが確保されている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0		利用人数によっては、難しい状況も考える為、よりよい支援ができるように人員確保が必要。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	車椅子の児童がいる為、トイレに手すりの設置をしている。 机、物の配置、感覚等を児童がわかりやすく、活動の障害にならないように工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	毎日、室内、送迎車両、玩具類など消毒、清掃、整理整頓を行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	児童の状態、状況により落ち着いて過ごせる空間作りを行っている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	その日の振り返りにて話し合い、翌日のミーティングにて再確認を行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	保護者向け評価アンケートを取り、改善点など話し合っている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	毎回のミーティング(朝・夕)に振り返りを行いながら改善点について、意見などを出し合いを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			現在、第三者による外部評価を行っていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	定期的な事業所内研修、法人開催の研修に参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	子どもの発達段階に合わせ職員間で話し合い、作成している。 法人ホームページにて公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0	一人ひとりの子どもが現在どのようなことに困っているのか、現在支援すべきことは何なのかなど職員間で話し合い、支援計画を作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法を検討しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	計画は職員へ共有されており、毎回支援を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	保護者の方には、連絡帳、職員間では支援記録を日々記録しており、状況が確認できるようにしている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	定期的にあセスメントを行い、本人や保護者のニーズに合わせ適切な支援の優先順位をつけ内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	職員全員で立案し、「静」「動」を交えながら児童全員が参加できるよう工夫している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	子どもの特性や状況に応じて、楽しみながら参加ができるようプログラムを工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	子どもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ計画書に反映させている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	支援開始前に必ずミーティングを行い、各自の役割確認し連携を行っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	支援終了後、ミーティングを行い、連絡事項やこどもの様子を情報共有している。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	毎利用時、子どもの様子、支援の内容を記録している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	定期的にモニタリングを実施し、子どもの支援記録にも目を通し、適切な支援計画の見直しを行っている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	児童発達支援管理責任者が参加している。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	保健、医療については、保護者様を通じて連携、障害福祉、教育関係については、保護者、関係機関と連携ができています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	3			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	3			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					今後、必要に応じて検討する。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	3			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	3			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	毎利用時、連絡帳での様子を記入を行い、送迎時等に都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0	保護者より日々の家庭での様子を確認し、困り感対応方法に適宜提案を行っている。			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時、契約書、重要事項説明書の内容について説明し、保護者に疑問点や質問等がある場合、その場で応えている。			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	本人や保護者のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えている。また、面談時新たなニーズがあれば、都度合う支援を考えている。			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0	面談時に支援の内容を行い、保護者の同意を得ている。			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	送迎時、電話、面談等に相談内容について、支援方法や提案を行っている。			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		父母の会や兄弟同士の交流する機会がない為、今後保護者、児童の意向を確認し検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0	主に、月初めにお便りを発行し日々の活動を掲載している。また、状況を見て変更がある場合は子ども、保護者へ連絡等を行い対応している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報が記載された書類は、鍵付きの書庫へ保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	状態に応じて、視覚支援を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		現在、地域住民を招待する行事等は行っていないが、必要に応じて、今後検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		マニュアルは策定しているが、保護者への周知は不十分である為、より安心して利用していただけるよう周知に努めていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	定期的に避難訓練を実施し、実際に災害が発生した際も、迅速に対応できるよう努めている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	服薬が必要な子どもについては、保護者より状況を共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	利用開始前や契約時に保護者へアレルギーについて確認を行っている。おやつ提供時、アレルギー物質が入っていないか確認し、提供を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全計画に基づいた研修や訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	活動の中で危ないことや災害時の行動について学んだ時は、どのようなことを学んだか、口頭や連絡帳、お便りにてお伝えしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	事業が起こった際は、ヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い、周知に努めている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	事業所内にて定期的に研修を行っている。その際、セルフチェックを全職員に対して実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	契約時に説明している。		